

選挙

民主的な選挙の基本原則

- ① _____ : 性別・財産などによる制限がない選挙
- ② _____ : 一人一票でかつ一票の価値が平等な選挙
- ③ _____ : 間に人を入れず候補者に直接投票する選挙
- ④ _____ : だれがどの候補者に投票したかわからないしくみの選挙

選挙制度

- ① _____ : 1 選挙区から得票数の最も多かった **1名**のみを当選させる
 - 【長所】 **二大政党制**になりやすく政局が安定する
 - 【短所①】 落選者に入れられた投票である _____ が大量に発生する
 - 【短所②】 与党に都合のよい選挙区割りが行われる危険がある = _____
- ② _____ : 1 選挙区から **2名以上**を当選させる
 - 【長所】 少数党でも議席を得られ**死票**が少なくなる
 - 【短所】 **小党分立**となり政局が不安定になる
- ③ _____ : 政党の得票数に比例して議席を配分する … _____ : 得票数を**整数**でわる
 - 【長所】 獲得議席数が得票数と比例し公平で**死票**が少ない
 - 【短所】 **小党分立**となり政局が不安定になる

衆議院と参議院の選挙制度

衆議院		参議院
	選挙制度	選挙区制と比例代表制 3年ごとに半数を改選する
① _____ : 当選順位が決まっている ② 政党名で投票する ③ 名簿順位に従って当選者が決まる ※同一順位は _____ で順位を決める	比例代表制	① _____ : 登載順位がない ② 政党名か候補者名で投票する ③ 得票数に応じて党に議席が配分される ※ _____ はできない

選挙のルール : _____ で具体的に定めている

- ① _____ の禁止 : 候補者の有権者宅訪問を禁止している
- ② _____ の禁止 : 定められた選挙期間以前の選挙活動を禁止している
- ③ _____ 配布の制限 : はがき・ポスター・ビラの枚数などを制限している
- ④ _____ の解禁 : インターネットを使った選挙運動が可能になった
- ⑤ _____ : 候補者と特定の関係にあるものが選挙違反をした場合その候補者の当選を無効にする制度
- ⑥ _____ の実施 : 仕事やレジャー・旅行などの理由がある場合に投票前に投票ができる
- ⑦ _____ : 午後 6 時までであった投票時間が**午後 8 時まで**に延長された

即効演習

問1 日本の選挙制度についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 衆議院議員選挙においても参議院議員選挙においても、選挙運動の際の戸別訪問が認められている。
- ② 衆議院議員選挙においても参議院議員選挙においても、選挙区と比例代表の両方に立候補できる重複立候補が認められている。
- ③ 衆議院議員選挙では、かつて一つの選挙区から複数の代表が選出される中選挙区制が採用されていたことがある。
- ④ 衆議院議員選挙では、小選挙区比例代表並立制の導入により小選挙区間において一票の価値に差がなくなった。

問2 現在の日本における国会議員の選挙制度についての記述として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 候補者による有権者宅への戸別訪問が認められている。
- ② 以前は18時だった投票の締切時間が20時に延長されている。
- ③ 衆議院議員選挙では、ブロックごとに比例区と小選挙区との重複立候補が認められている。
- ④ 参議院議員選挙では、選挙区制と非拘束名簿式比例代表制とが併用されている。

問3 日本の選挙制度についての記述として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 衆議院の小選挙区で落選した重複立候補者は、比例名簿登載順位が同じ場合、得票数が多い順に比例区で当選できる。
- ② 地方議会は、地方議会の固有の権限として、各地方議会議員選挙の選挙権・被選挙権を有する者の年齢を独自に定めることができる。
- ③ 参議院の選挙制度には、政治改革の一環として拘束名簿式比例代表制が採用されている。
- ④ 海外在留邦人の選挙権が衆参比例代表選挙に限られることは違憲である、とする最高裁判所の判決が出されている。

問4 小選挙区制の問題点といわれているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 小党分立を促し、政局が不安定になりやすい。
- ② 少数党は、得票率をかなり下回る議席数しか獲得できない場合が多い。
- ③ 同一政党内において、同士討ちの弊害が生じやすい。
- ④ 候補者選択の範囲が広く、選挙民は候補者の人格や識見を判断しにくい。

問5 わが国において、選挙の公正を図るために採用されている制度を、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 選挙運動の出納責任者が悪質な選挙違反を行い、有罪が確定した場合、候補者自身には直接の責任がなくても、当選は無効となる。
- ② 公務員のなかでも高級官僚は、立候補に際して、資産公開を義務づけられており、しかも離職直後は立候補できない。
- ③ 現職の議員が再度立候補する場合には、一定数の推薦者名を、各選挙区の選挙管理委員会に届け出なければならない。
- ④ 公職選挙法に基づき、選挙での得票率に応じて、選挙運動に要した費用が、国庫から政党に支給される。

問6 次の表は衆議院議員比例代表選挙におけるある比例代表区のX～Z党の獲得票数を示したものである。この比例代表区の定数は9名であり、名簿届出政党はX～Z党の三つのみであるとする。現行の衆議院議員総選挙の比例代表選挙制度の下で、この比例代表区における各政党の獲得議席数を示す表中のA～Cに当てはまる数の組み合わせとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

政党	X党	Y党	Z党
獲得票数	186,000	103,000	74,000
獲得議席数	A	B	C

- ① A-4 B-3 C-2
- ② A-4 B-4 C-1
- ③ A-5 B-2 C-2
- ④ A-5 B-3 C-1
- ⑤ A-5 B-4 C-0
- ⑥ A-6 B-2 C-1

問7 両院の選挙制度の現状についての記述として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 衆議院の選挙区選挙では、都道府県単位の選挙区ごとに1名以上の議員を選出する。
- ② 衆議院の比例代表選挙は、政党名または候補者名のいずれかを記して投票する方式である。
- ③ 参議院の選挙区選挙では、比例代表選挙の名簿登載者も立候補できる。
- ④ 参議院の比例代表選挙は、全国を一つの単位として投票する方式である。